

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公表番号】特表2007-525265(P2007-525265A)

【公表日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2006-554215(P2006-554215)

【国際特許分類】

A 6 1 C 17/22 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 13/02 7 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータを配置した中空内部領域を画定しているハンドルと、ブラシ毛を上部に配置して有する可動ブラシ毛ホルダーを備えるヘッドと、前記ハンドルと前記ヘッドとの間に延びているネックと、長軸を形成するドライブシャフトとを含み、このドライブシャフトは前記ネックを貫通して延びており、かつ作動的に前記モータを前記可動ブラシ毛ホルダーにつなぎ、前記モータの動作により前記ドライブシャフトは往復運動させられ、前記ドライブシャフトは前記モータと前記可動ブラシ毛ホルダーとの間で前記ドライブシャフトと一体的に形成された少なくとも 1 つのパネ要素を備え、前記パネ要素は前記可動ブラシ毛ホルダーに隣接する前記ドライブシャフトが過負荷を受けないときには実質的に硬質で変形せず前記モータから前記可動ブラシ毛ホルダーに隣接する前記ドライブシャフトへ効率的に大きなロスなく動力を伝達し、前記可動ブラシ毛ホルダーに隣接する前記ドライブシャフトへ前記可動ブラシ毛ホルダーの動作を制限する過負荷が加わると比較的柔軟であって前記モータに前記パネ要素を前記モータからの動力のいくらかを吸収することにより往復変位させ、前記可動ブラシ毛ホルダーに隣接するドライブシャフトに過負荷がかかりその動作が制限されても通常レベルの電力を消費しながら前記モータが動作し続けることを可能にする電動歯ブラシ。

【請求項 2】

前記パネ要素は、前記ドライブシャフトと同じ材料で形成される請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 3】

前記パネ要素は、前記ドライブシャフトと異なる材料で形成される請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 4】

前記パネ要素は線形パネである請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 5】

前記パネ要素は第 1 パネ要素と第 2 パネ要素とからなる請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 6】

前記第 2 パネ要素は前記第 1 パネ要素のパネ定数とは異なるパネ定数を示す請求項 5 に

記載の電動歯ブラシ。

【請求項 7】

前記第 1 バネ要素は前記第 2 バネ要素を形成する材料とは異なる材料で形成される請求項 5 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 8】

過負荷は前記バネ要素が前記ドライブシャフトになればモータの動きを実質的に停止させることになる負荷である請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 9】

モータの動きの実質的な停止により前記可動ブラシ毛ホルダーの運動率が 50 ~ 100 % 未満になる請求項 8 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 10】

前記可動ブラシ毛ホルダーの運動率の減少が 75 ~ 95 % である請求項 9 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 11】

前記ブラシ毛ホルダーは前記ヘッド上に相対移動のために搭載される請求項 8 に記載の電動歯ブラシ。

【請求項 12】

前記ブラシ毛ホルダーは前記ヘッド上に相対移動のために搭載される請求項 1 に記載の電動歯ブラシ。